事務事業調書	No	345	課 名	健康推進課	起 案 者	杉浦明香
平成23年度			係 名	成人保健係	決 裁 者	
事 業 種 別	市民サービス		区 分	継続	業務一覧No	
事務事業名	地域介護予防活動支援事業				他 係名	
					他係 業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 2 社会福祉 1 高齢者福祉 1 いきいきと暮らせる環境づくり 3 健康づくり	予算科目(会計)	介護保険事業特別会計
		予算科目(款・項・目)	15-5-10
		総合計画以外の計画	高齢者保健福祉計画
		関連する総合計画の施策	
性質区分	法律などで実施が義務付けられているもの（義務的	法定受託事務	無
根拠法令	有	介護保険法第115条の38第１項	
実施方法	直営	委託先	
実施期間	開 始	経 過	終 了	期 間
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	高齢者(特に町内会福祉委員会や老人クラブの会員)が	～になる	健康づくりの知識を得る。また、生活に取り入れる。
事務事業の内容	活動性の低下や転倒の危険性から「要支援･要介護状態」になることを予防するとともに、健康に対する意識の向上と正しい知識の普及を図るため、保健師･管理栄養士･歯科衛生士が健康講話や実技指導等を行います。			
事務事業進捗状況	【平成22年度実績】 ・町内会体操教室：実施町内回数 20会場、実施回数 234回 延参加者数 3,664人 ・老人クラブ等健康教育:老人クラブ-実施回数89回,受講者数4,342人 その他-実施回数38回,受講者数1,617人 ・8020歯のコンクール表彰：受賞者数 54人			
改善・対策の履歴	・22年度から水分補給の必要性を伝えるなど、教室に参加する上での注意事項を参加者に周知し、安全に実施できるよう配慮しました。 ・老人クラブ等健康教育は、22年度にまちかど講座（高齢者向け）のテーマについて見直しました。 ・21年度から社会福祉協議会で開催する「すっきり体夢」には健康教育という形で協力し、今後も行う予定です。 ・8020歯の表彰式は、ごみ減量を意識し、記念品の過度な包装は避けました。			
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

	項 目		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
			目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
コスト	総事業費 f=a+d+e		20,194	18,876	24,882	22,875	23,850	22,567	3,872
	財源計 a		4,381	2,310	4,099	2,619	3,745	2,462	3,872
	財源の内訳	国庫支出金	1,095	578	1,025	655	936	616	968
		県支出金	548	289	512	328	468	308	484
		市債	0	0	0	0	0	0	0
		その他( )	1,906	982	1,742	1,113	1,592	1,047	1,646
		一般財源	832	461	820	523	749	491	774
	受益者負担金		0	0	0	0	0	0	0
	職員人件費 d		15,813	16,566	20,783	20,256	20,105	20,105	0
	内訳	従事職員数	2.10	2.20	2.76	2.69	2.67	2.67	0.00
	人事課予算分人件費 e		0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名（活動内容）	町内会健康体操教室	見込(単位)	200.00	240.00	240.00	0.00
				実績b(単位)	209.00	232.00	234.00	
		指標名(単位)	開催回数(回)	活動の総事業費f 実績	6,618	11,032	10,977	
				単位コストg=f÷b 実績	31.67	47.55	46.91	
	活動②	活動名（活動内容）	老人クラブ等健康教育	見込(単位)	156.00	140.00	140.00	0.00
				実績b(単位)	113.00	131.00	127.00	
		指標名(単位)	開催回数(回)	活動の総事業費f 実績	7,642	8,052	7,934	
				単位コストg=f÷b 実績	67.63	61.47	62.47	
	活動③	活動名（活動内容）	８０２０歯の表彰	見込(単位)	70.00	80.00	80.00	0.00
				実績b(単位)	56.00	54.00	54.00	
		指標名(単位)	受賞者数(人)	活動の総事業費f 実績	1,577	1,585	1,598	
				単位コストg=f÷b 実績	28.16	29.35	29.59	

5（1） 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	家庭での体操の継続率(%)	見込(単位)	75.00	75.00	75.00	75.00
			実績(単位)	74.70	67.30	66.00	
			達成状況	未達成	未達成	未達成	
		目標成果指標値 75.00	目標達成年度	平成26年度			
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		講話の受講者数(人)	見込(単位)	6,700.00	6,000.00	6,200.00	6,200.00
			実績(単位)	5,150.00	5,978.00	5,959.00	
			達成状況	未達成	未達成	未達成	
		目標成果指標値 6,000.00	目標達成年度	平成26年度			

5（2） 成果１、２以外の成果

	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
成果	町内会健康体操教室：平成２１年度9月から口腔機能向上を目的とした「歯っする体操」を教室内で実施しています。自宅で体操だけでなく歯の体操も実施できるようチラシを配布しました。 老人クラブ等健康教育：講話とともに、血圧測定を希望される団体には血圧測定を実施しました。

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
分析	単位コスト	活動①：参加者の状況に応じて臨時看護師の派遣人数を調整したため、単位コストが減少したと考えられます。 活動②：開催回数が減少したため、単位コストが増加したと考えられます。 活動③：高齢者が持ちやすい記念品に見直したため、単位コストが若干増加したと考えられます。
	成果1，2	成果１：継続率は低下していますが、未実施理由に別の運動をしていることをあげている人も多いことから、体を動かす人の人数は減っていないのではないかと考えられます。 成果２：受講者数は若干減少しましたが、１回当たりの受講者数は増加し、効率よく知識の普及が出来たと考えられます。

7 所属長の改善案

	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
改善	平成21年度より、一般高齢者に対する介護予防事業（一般高齢者施策）については、安城市社会福祉協議会が実施することとなりましたが、内容について曖昧な部分が多いので、介護保険課と安城市社会福祉協議会と連携をとって実施していきます。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	平成21年度より、一般高齢者に対する介護予防事業（一般高齢者施策）については、安城市社会福祉協議会が実施することとなりました。今後は現在健康推進課で実施している一般高齢者施策について、各関係機関と調整を進めていきます。